

学びあい育ちあい推進審議会 令和元年8月定例会要点録

令和元年8月22日（木曜）

出席委員	学校教育の関係者	
	委員	山 川 毅
	社会教育の関係者	
	委員	青 木 ひとみ
	委員	小 泉 良 司
	家庭教育関係代表	
	委員	鵜 澤 千 秋
	委員	大 原 立 江
	学識経験者	
	委員	梅 澤 佳 子
	委員	炭 谷 晃 男
	公民館利用者代表	
	委員	浅 井 智 子
	委員	野 口 享 子
	公募市民	
	委員	鯨 井 俊 彦
	委員	水 島 穂乃香
	図書館協議会代表	
	委員	玉 木 康 平
欠席委員	委員	關 口 寿 也
	委員	内 野 秀 重
出席職員	教 育 部 長	須 田 雄 次 郎
	教育企画担当課長	加 藤 大 輔
	文化財担当課長	藤 田 純
	関 戸 公 民 館 長	安 達 仁
	図 書 館 長	横 倉 妙 子
	文化・市民協働課長	古 谷 真 美

(開会時刻：14時30分)

議事録署名委員：山川委員

議事次第・配布資料

〔報告事項〕

- 1 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
第2回拡大役員会・第1回理事会について……………【資料 1】
- 2 令和元年度地域学校協働活動推進委員会について……………【資料 2】
- 3 公民館事業進捗状況について……………【資料 3】
- 4 公民館施設使用状況について……………【資料 4】

〔連絡事項〕

- 1 ポッチャ2020TAMAカッププレ大会のポスターについて
- 2 第61回全国社会教育研究大会兵庫大会の開催について

〔協議事項〕

- 1 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
第3ブロック研修会について……………【当日配布】

会 長： 本日欠席の委員は、内野委員、關口委員である。梅澤委員、青木委員が少し遅れるが、ただいまの出席委員は10名で、定足数に達しているため令和元年多摩市学びあい育ちあい推進審議会8月定例会を開始する。会議録署名委員は山川委員にお願いする。

教育企画担当課長： —（配布資料の確認）—

〔報告事項〕

- 1 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会
第2回拡大役員会・第1回理事会について……………【資料 1】

会 長： 私から、令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会（以下「都市社連協」）第2回拡大役員会・第1回理事会について報告させていただく。1点目、各ブロック研修会の実施計画が示されたが、前回7月定例会で配布した資料と概ね変更はない。理事会で各理事へ報告した後、第3ブロック研修会の開催通知を各市へ送付した。参加者の集計結果は後ほど事務局から説明いただきたい。2点目、12月に開催される都市社連協交流大会・社会教育委員研修会の実施要綱（案）が示された。前半のブロック研修会の報告では、多摩市も報告を行う。後半の講演会は、能楽師の青木一郎氏をお招きする予定であり、講演のほかに実技指導もあるそうだ。みなさんご都合がつく範囲内で出席いただきたい。3点目、7月定例会でも報告したところだが、全国社会教育委員連合の会費値上げに対して、都市社連協としては各ブロックの活動費を60,000円から6,000円削減することで対応することになった。なお、活動費の削減は来年度以降からとなるため、今年度の活動に影響はない。4点目、関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会の開催要項を机上配布したが、広範囲から社会教育委員が集まる貴重な機会なので、みなさんも可能ならば参加いただきたい。

質疑・意見 なし

2 令和元年度地域学校協働活動推進委員会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料 2】

教育企画担当課長： 7月定例会の後に、地域学校協働活動推進委員会を開催した。今年度から、出席する本審議会の委員を絞り、会長、副会長、梅澤委員、鶴澤委員、山川委員、關口委員に出席いただいた。また、青木委員、野口委員、浅井委員、水島委員、玉木委員には傍聴していただいた。地域学校協働活動のパンフレット及びコミュニティ・スクールのリーフレットを配付し、出席の教育連携コーディネーター（以下「コーディネーター」）に「活動が始まって現在に至るまでの経緯・工夫・課題」について発表していただき、意見交換を行った。具体的に課題として、学校から日程のお知らせが来るのが遅いためボランティアとの連絡・調整が難しいこと、地域が学校について理解できる仕組みがあると活動に参加してもらえなどが挙げられた。東落合小学校の松本コーディネーターからは、特徴的な活動として行っている「高齢者のごみ出し活動」について、児童と高齢者の触れ合いを目的に始めたが、長年活動している中で子どもたちを当てにして趣旨とずれてきたことが課題だというお話もあった。また、コーディネーターが一生懸命活動しているが、孤立しないための支援が必要である意見も出た。關口委員からは、学校の中に活動するための場所があると活動の幅が広がるとともに、地域の方も学校に来やすくなるという学校の視点からのお話もあった。和田中学校の塩沢コーディネーターからは、中学生と地域の方と一緒に防犯パトロールをしているお話があった。

児童・生徒が地域の方と一緒にやって行う活動は、まさに教育委員会が推進している地域学校協働活動であり、各地域で行われていることがお話の中から伺えた。

会 長： 有益な会合であったが、欠席されたコーディネーターが多く残念だった。本審議会の日程に合わせていることから仕方ないことではあるが、より多くのコーディネーターから活動のお話を伺いたい。また、会議を通じて一つでも課題の改善・解決ができるとうれしいと感じた。

副 会 長： みなさんに声をかけて人を集めて活動を始めることがとても大変であることから、活動を継続していくことが大切だと感じた。コーディネーターのみなさんがすごく頑張っている思いが伝わってきたので、声をかけやすくなる環境を整えていきたい。

3 公民館事業進捗状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料 3】

4 公民館施設使用状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【資料 4】

関戸公民館長： 永山公民館の事業進捗状況について、項番14「人権について考える講座」では、7月20日に「こどもしよくどうトーク」が開催され、大妻女子大学の加藤准教授と多摩市内で子ども食堂を運営している団体の連絡会である「たま食ねっと。」の方が登壇してトークを行った。これは、項番20「TAMAシネマフォーラム」と連携しており、『こどもしよくどう』を上映するとともにトークショーを行った。

項番21「東京2020オリンピック・パラリンピック展」では、7月中に16日間にわたって1964年に開催した東京オリンピックに関する新聞等のパネル展示を行い、延べ参加人数は484名であった。

関戸公民館の事業進捗状況について、項番3「地域課題講座」では、夏休み前ということから関・一つむぎ館で子ども向けの工作講座と貝取こぶし館で笑いヨガを実施した。前回も報告した項番11「関戸地球大学院」の各講座では、昨年度よりも参加者が増えて毎回40名前後が参加している。

永山公民館の施設使用状況について、昨年7月の使用率68.8%に対して今年の使用率は71.0%であり、概ね変わりはない。

関戸公民館の施設使用状況について、昨年7月の使用率60.7%に対して今年の使用率は54.8%と少し下がっている。特に和室1は70.0%から50.0%、和室2は56.7%から38.9%に大きく下がったことが全体に影響している。和室の冷房が効きづらく、昨年度の夏に「暑い」とのご指摘を多くいただいたことが今年度の使用率低下の原因として考えられる。空調機器を調整して和室1は改善されたが、和室2は依然として空調が弱い状況が続いている。

委員：夏まつり文化体験会で利用した際は和室1もかなり暑かったが、空調機器は新しくなったのか、それとも修理を行ったのか。

関戸公民館長：和室1は空調の吹き出し口が下向きに下がっていなかったのを8月に直し、現在は状況が改善された。和室2は依然として冷えず、改修工事に合わせて対策して行きたい。

〔連絡事項〕

1 ボッチャ2020TAMAカッププレ大会のポスターについて

教育企画担当課長：7月定例会では、ボッチャ2020TAMAカッププレ大会を10月19日に開催することを報告させていただいた。鶴牧中学校の生徒が描いたイラストを載せたポスターが完成し、市内公共施設等に掲示している。鶴牧中学校では、体育の授業にボッチャを取り入れていることから生徒の理解があり、描きやすかったと考えられる。ポスターのイラストを依頼する説明会には90名を超える参加があり、27点の作品の中から選ばれた。

8月31日までチームのエントリー期間を設けており、現在半数近いエントリーがある。友好都市長野県富士見町の小学生をはじめ、子どもから大人まで障がい者を含め多くの方が参加予定である。3名からチームを構成してエントリーできるため、ご参加もしくは当日観に来ていただきたい。また、永山公民館共催で8月31日にグリナード永山で「ボッチャグリナードカップ大会」が開催される。

質疑・意見 なし

2 第61回全国社会教育研究大会兵庫大会の開催について

教育企画担当課長：全国社会教育研究大会が、10月23日から25日にかけて兵庫県神戸市で開催さ

れる。大会スローガンは「『学びと実践の収穫祭』 ごこく豊穰 i n ひょうご」であり、研究主題は「多様性を認め合う、豊かな地域社会のための社会教育の実践」である。興味・関心がある方は、開催要項をお渡しするので事務局にお声掛けください。

会 長： これは社会教育委員の全国組織が主催する研究大会であり、関東甲信越静地区の研究大会は埼玉で開催される。都市社連協の研修会は各ブロックで開催され、今年度第3ブロックは多摩市が幹事市である。様々な大会が行われており、時間・興味等があれば参加していただきたい。

会 長： 本日配布した『多摩の文化』について、青木委員からご説明いただきたい。

委 員： 年2回『多摩の文化』を発行しており、今回は文化祭に向けて各団体の紹介をしているが、加盟している団体メンバーの高齢化を課題に感じた。茶道連盟、書道連盟、華道連盟等は師範を持っている方ではないと加入できない連盟ごとの約束事があるそう。文化団体連合としては、やりたいと思っている方が参加できるように少しずつ変えていただけるようお願いしている。

今年度夏まつり文化体験会を経済観光課が主催するラスカル子ども映画祭とコラボした結果、映画を観にきた方が多く体験会に来てくださった。来年度以降もコラボしたいと考えている。

委 員： 長野県でも同様の活動があるが、こうした活動を継続してできることを大事にしていきたい。高齢者になっても多摩市に住み続けたい、文化を絶やさない活動や、ラスカル子ども映画祭とコラボして若い方と絡む活動の機会を今後も増やしていただきたい。

委 員： 日本舞踊に関しては、子どもたちが上の階から、同年代の子たちが様々な着物を着て市民ロビーのステージで踊っているのを見て、興味を持つことができて良かった。

〔協議事項〕

1 令和元年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会について・・・【当日配布】

会 長： 7月定例会で予告していたが、10月5日の第3ブロック研修会の第2部では、みなさんが各グループのファシリテーターを務めることから、本日は実際にグループワークを試みたい。グループワークの中で気になる点や改善点等があれば、後ほどご意見いただき、本番に向けて整理する時間を取りたい。

グループワークに先立って、他市からの参加申し込み状況について、事務局から説明をお願いしたい。

教育企画担当課長： 研修会の開催要項について、開会の主催者挨拶が東京都市町村社会教育委員連絡協議会会長、閉会の挨拶が次期開催市の町田市社会教育委員会会長にそれぞれ決まったことを報告させていただく。当日の役割として、7月定例会で協議したとおり、受付は梅澤委員・浅井委員・野口委員、開会の挨拶は炭谷会長、閉会の挨拶は大原副

会長、司会は水島委員にお願いしたい。当日の流れも前回定例会から変わらず、12時30分に関戸公民館に集合し、13時から受付開始、13時30分から16時に研修会を開催し、16時30分に解散する。

開催通知は第3ブロックのみならず都市社連協の他ブロックにも送付した。参加申し込み状況として、多摩市を含む第3ブロックからの参加は委員と事務局職員を合わせて40名であった。他ブロックからは、委員9名と事務局職員3名から参加申し込みがあり、合計52名であった。第2部の情報交換では、1グループ7～8名で7グループに分かれる案を作成した。各グループには各市の社会教育委員と事務局職員が入っており、多摩市の委員もそれぞれのグループに割り振りさせていただいた。

また、前回ご意見いただいたことから「自己紹介シート」を作成した。自己紹介に関する部分と、第1部の講演を聴いて気になったこと等を書く部分があり、第2部の話のきっかけになればと考えている。後ほど、実際にグループワークをしながら必要に応じて修正もしていきたい。

会長： 当初予想していた50名程度の参加者となったが、他ブロックからの参加が多いことが特徴的と言える。「地域学校協働活動」というテーマに関して、社会教育委員から広く関心があることが示唆される。多摩市の取り組みを広く各市に知っていただく良い機会である。

—— グループワーク ——

会長： 以上で、本日の予定は全て終了した。次回定例会は、10月17日木曜日14時30分より、東庁舎会議室で行う。10月5日の研修会は、よろしくお願いしたい。
(2時間22分)

(閉会時刻16時52分)

会議規則第10条第4項によりここに署名する。

令和元年10月17日

会長

委員